

## 1.1.2.6-09

---

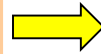
「を」と「に」の使い分け

## 1.1.2.6-09\_「を」と「に」の使い分け\_ナレッジ

☞ ニ格とヲ格は、以下のように場所や対象を表す場合に互いに交替可能である。

① 場所を表す場合 ⇒ 「を」は通過点、  
「に」は帰着点を表す。

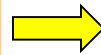
山{を/に}登る  
階段{を/\*に}登る  
頂上{\*を/に}登る



「～を登る」≡「～を上がる」  
「～に登る」≡「～に到着する」

② 対象を表す場合 ⇒ 「を」は働きかけの対象(支配される対象・影響を被る対象)  
「に」は密着の対象

親戚{を/に}頼る  
先輩{を/\*に}頼って上京する  
学資を親{\*を/に}頼る



「～を頼る」≡「～を利用する(手づるとする)」  
「～に頼る」≡「～に依存する」

## 1.1.2.6-09\_「を」と「に」の使い分け\_ナレッジ



使役の動作主の助詞「に」「を」について

(1) 自動詞 Sは[人](を/に) [自動詞の使役の形]  
「動作主(人=学生)は、ヲ格。時に、ニ格。」

(1) 先生は 学生(を/に) 走らせた。

(2) 他動詞 Sは[人]に[何か]を [他動詞の使役の形]  
「動作主(人=学生)は、ニ格。」

(2) 先生は 学生に 漢字を 書かせた。

他動詞は「漢字を」というヲ格があるので、動作主は必ず「(学生)に」のように、「ニ格」となります。  
そこで、助詞がヲをとるのか、ニをとるのかが、問題になるのは、自動詞の使役です。

## 1.1.2.6-09\_「を」と「に」の使い分け\_ナレッジ

### 自動詞の使役の助詞「に」「を」について

自動詞の使役では、どんな時に「に」を、どんな時に「を」を使うのでしょうか。

先生は 学生(を/に)走らせた。

①動詞(走る)が、

①-1どんな補語をとるのか。(その動詞が、どんな助詞とともに使われているのか)

①-2どんな意味を持つ動詞なのか。

②動作主(学生)が、意志を持って行動できるかどうか。

以上の二点が、基本的条件です。

### ①動詞の問題①-1

(3) 子供に 歩道を 歩かせる。

(4) 暗い道は危ないので、子供には 通らせません。

子供に 暗い道を 通らせない。

●移動の場所を示す助詞として、「を」を使う場合、「を」が、重なってしまうので、使役の動作主には、「に」を用います。

(1) 先生は 学生(○を/○に) 走らせた。

(5) 先生は 学生(×を/○に) グラウンドを 走らせた。

## 1.1.2.6-09\_「を」と「に」の使い分け\_ナレッジ

### 👉 ①動詞の問題①-2

●自然現象を表す動詞は、使役の動作主に「を」とります。

(6)おじいさんは 枯れ木に 花を 咲かせました。

(7)雲にミサイルを撃ち込み、雨を 降らせる。

「吹く」「光る」「輝く」「錆びる」「腐る」・・・など。

●感情を表す動詞の中で、「一時的な心の動き」を表すもの。

「ぎょっとする」「ハッとする」「驚く」「ほっとする」「安心する」「がっかりする」「失望する」「興奮する」「かっとする」「怒る」こういった動詞は「を」とります。

(8)陳さんの上手な日本語は 皆を 驚かせた。

(9)陳さんは 人を 笑わせるのが 得意だ。

(10)彼のその一言が、彼女を 泣かせた。

## 1.1.2.6-09\_「を」と「に」の使い分け\_ナレッジ



### ②動作主の問題

●動作主が、意志を持たない「物」の場合は「を」を使います。

- (8)まずは 物価を 安定させることです。
- (9)横浜まで 車を 走らせた。
- (10)はやく セメントを 固まらせてしまおう。

### 「を」「に」どちらもとれる自動詞

- (11)両親は 次郎(○を/○に)下宿させた。
- (12)両親は 子供(○を/○に)行かせた。
- (13)コーチは 選手(○を/○に)泳がせた。

「を」「に」どちらも取れる場合、「を」を使うと「強制」の意味に、「に」を使うと「許可・放任」の意味になると言われています。

(例) (11)両親は 次郎(を/に)下宿させた。

両親が次郎の意志を考慮していない場合は「を」

両親が次郎の「下宿したい」という申し出を考慮した場合は「に」を使うということです。

(11)両親は 嫌がる次郎(○を/?に)下宿させた。

(11)(次郎がどうしても下宿したいというので)両親は 次郎(を/に)下宿させた。

### 1.1.2.6-09\_「を」と「に」の使い分け\_ナレッジ

---

(12) 両親は嫌がる子供(○を/に)歯医者へ行かせた。

(12-1) (そんなに行きたがっているのならと)両親は 子供(を/に)行かせた。

(13) コーチは もう泳げないという選手(○を/に)無理やり泳がせた。

(13-1) 次は 私(?を/○に)泳がせてください。